

I. 平成30年度の実績

グループ名称	いばらきnodo住宅ラボ				
H30採択グループ番号	07	—	0633	—	0168

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループとして地域社会の高齢化に伴いヒートショックの発生を削減してお子様やご家族様の安全な住宅を提供して省エネ性能を重視した長期優良住宅等に力をいれ地域社会に貢献する事に取り組んでまいります。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/01	名称	平成30年割当配分会議			●	
	内容	・今年度の適用申請書の内容 ・昨年度より変更点 ・採択配分の割当								
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日		名称	構造見学会				
	内容	消費者の家づくりの勉強の一環として施工構成員数社の合同で現場見学会を開催。多くの消費者に参加頂き施工構成員の使用構造材を比較して家づくりの参考にしていました。参加者はこれまでに住宅の構造を見た方は少なく好評でした。								
	消費者説明会 2	有	開催日		名称	完成見学会				
	内容	家づくりの勉強の延長線で構成員のお客様や地域の消費者の方を対象にいばらきnodo住宅の完成見学会を行った。多くのお客様に今後の家作りの参考に成ったと好評でした。								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/10/04	名称	省エネ基準適合義務化に向けた無料講習会	タイプ	座学		
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ			
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ			
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ			
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ			

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		
	内容	未経験工務店を中心に、事務局員がサポートに付きいばらきnodo住宅の提案・申請手続きの助けを行い自信を持って対応出来るようにした。		
取組み②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	4	発行予定	13
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン株式会社・株式会社LIXIL	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	事務局が主導して維持管理委員会(事務局・流通構成員中心)で施工工務店を決定して消費者に紹介する。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	グループ施工構成員に省エネ講習の未受講社を無くすため講習会の会場と開催日を案内して受講を義務付けました。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	8社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	いばらきnodo住宅ラボ				
H30採択グループ番号	07	—	0633	—	0168

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/23	名称	R元年仕様説明会		
	内容	・今年度の適用申請書の内容 ・昨年との変更点 ・今年度の取組と重点課題						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日		名称	構造見学会		
	内容	家づくり勉強会の延長線上の取組として施工構成員のお客様や地域の消費者の方を対象にいばらきnodo住宅の構造見学会を行う。同時に資金計画・土地探し・間取りと使用の相談を受ける。						
	消費者説明会 2	有	開催日		名称	完成見学会		
	内容	家づくり勉強会の延長線上の取組として施工構成員のお客様や地域の消費者の方を対象にいばらきnodo住宅の完成見学会を行う。同時に資金計画・土地探し・間取りと使用の相談を受ける。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/05/10	名称	2019年どうなる住宅市場動向	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	事務局内にサポート体制を構成し、未経験工務店の提案・申請をサポートしていばらきnodo住宅の特徴・地域住宅の違いを説明して受注活動に利用促進をしていく。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	プロパティオン株式会社・株式会社LIXIL
------------	----------	-----	-----------------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	事務局が主導して維持管理委員会(事務局・流通構成員中心)で施工工務店を決定して消費者に紹介する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み(新築)	有						
内容	今年度実施される省エネ化に向けた講習会に関して受講を推奨する。特に施工構成員には施行現場に係わる外注事業者にも受講を推進して、グループ内の住宅省エネ化に向けた取り組みを強化していく。						
省エネ化に対する取組み(改修)	有						
内容	茨城県建築センター等の公共団体や断熱・建材メーカーの協力を仰ぎ年1回以上の省エネ・断熱施行の各種研修を行う。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日				
内容						
研修計画 ②		実施日				
内容						

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	いばらきnodo住宅ラボ				
H30採択グループ番号	07	—	0633	—	0168

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>私たちが目指すのは、「お年寄りからお子様までご家族様が笑顔で安心して生活できる住まいをご提案する事」であります。そのためには、茨城県・栃木県の八溝山系の優良な地域材を使った地域風土に調和した家づくりとチームで取り組む継続的なメンテナンスを約束した長期優良住宅を提供する事にあります。</p>
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	・構成員のJAS認定工場で生産された合法木材の地域材を使用する。 ・土台 : 桧KD105mm角以上100%使用する。 ・柱 : 杉又は桧KD105mm角以上100%使用する。(但し真壁柱・ポーチ柱は除く) ・桁・梁: 杉又は桧KD105mm角以上を使用して全体で50%以上にする。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	地域材を過去3年間の需要実績を基にして流通構成員と事務局が相談して必要在庫として押さえる。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	給湯器・トイレ・キッチン・ユニットバスなどの住宅機器を3パターンを推奨商品としてまとめ、いばらきnodo住宅標準仕様として提案。建材メーカーへの協力要請でコスト削減に取組む。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内の地域材在庫状況(供給可能量)を月次毎に事務局が把握して施工構成員に定期連絡をする。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	フラット35の施工基準書に基づく施工の実施、省エネ施工に関しては省エネ技術講習会の施工講習を受講し施工技術の共通化を図る。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	施工事業者は、点検完了後住宅履歴情報登録を行い事務局に報告。又、お施主様にも登録内容を報告する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループとして施工中・引渡し前に2回の点検検査を行い、いばらきnodo住宅の施工品質の確保に取り組む。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	共通書式は作成しないが「一式見積りの禁止」「消費者に」分かりやすい用語の仕様」「見積りの説明資料の添付」を共通取組みとする。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	基本的に各構成員の事業所では週休2日か一部隔週2日を採用している。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	現在、キャリアアップに関する学習会を計画し、対応の検討に入った。
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的に全事業者が加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	グループ全体で安全講習に関する取り組み研修を実施予定。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	いばらきnodo住宅ラボ				
H30採択グループ番号	07	—	0633	—	0168

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	各施工構成員のエリアの業者を優先採用する。
② 和瓦の活用	有	内容	各施工構成員のエリアの業者を優先採用する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	各施工構成員のエリアの建具事業者を優先採用して和のすまいの表現を推奨している。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	茨城県の伝統産業である笠間の陶器・真壁の御影石・常陸大宮の和紙を住宅の一部に採用することを推奨している。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	いばらきnodo住宅の研修会等に際して有識者・施工業者間での意見交換を介した地域の伝統的なデザインの取組みに関する学習会を計画予定。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	相談窓口(グループ主催)の住生活全般に関する相談会・学習会のコンテンツの一つとして計画予定。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	研修会の際に伝統的デザインへの取組みだけでなく、外構を含めた建築予定の街並みに対する配慮の研修も予定する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	<p>供給エリアの多くが被災地の為、国産材(地域材)の仕様率の一層の向上を図り、地域林業に貢献する。 又、積極的に住宅に関する地場産材の活用を推進して行く。</p>		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	<p>地震発生確率が高い中、地域の住産業団体と連携した災害時の対応内容について協議・取り決めを行っていく。 大規模台風等の自然災害発生時には、各社が手分けして被害調査を義務付けて補修計画の提案を行う事としていく。</p>		